

No. 1191

氷上の花

195 月号

日・ソ、フィギュア

銀盤の上を妖精のように舞うイリーナ・ボドレゾワ。高く素晴らしいジャンプと大胆な演技でデビューと同時に世界中の注目を集めた13才の天才少女。

ソ連から世界的なフィギュア・スケーターを迎えて開かれた1976年日・ソ、フィギュアエキシビションは11月7日、東京の代々木競技場で行なわれました。日本のエース渡部絵美もアメリカ仕込みの華麗なスケートニングを披露。金メダリストの貫録も十分に円熟した演技で観衆を魅了するパホモワ、ゴルシュコフ夫妻。

ワルツ、タンゴ、ルンバ、ロシア民謡と次々に踊るさまはまさに黒い白鳥。スタンドからは“ハラショウ”のためいきがもれました。

天皇在位50年式典

281
5月

天皇在位50年式典は天皇・皇后両陛下をお迎えして11月10日、東京・九段の日本武道館で開かれました。式典には式典委員長の三木首相をはじめ、各界代表約7000人が出席。三木首相は式辞で「天皇陛下には大正15年12月25日、御歳、25歳にして皇位に就かれ、昭和と改元されて以来、本年をもって御在位50年を迎えられます。陛下、ほんとうに御苦勞様でございました。これからも、どうぞ、ますます御健康であられますように」と述べました。これに対し、「本日この記念式典に臨み、各界を代表する諸君と親しく一堂に会することは、私の喜びとするところであります。今ここに過去50年の歳月を顧みるとき、多くの喜びと悲しみとが、思い出されるのでありますが、何にもまして、国民が幾多の苦難と試練を乗り越えて今日に至っていることに深い感慨を覚えます。」と天皇陛下が答礼のことばを述べられました。式典は、宮内庁の意向もあり、簡素で厳粛に行なわれ、万歳三唱で締めくくりました。